



■ 新年のご挨拶



謹んで初春のお慶びを申し上げます。昨年は会員の皆様のご活躍により、都草と社会との関りが特に広がった年でした。ひとつはHPを全面的に改修し、日頃の活動報告はもとより、YouTubeの閲覧や行事参加の申し込みがスマホからも簡単にできるようになったことです。また、11月と12月に「明日の京都文化遺産プラットフォーム」と共に主催した「京都御所・御苑歴史散策ツアー10周年記念講演会&ガイドツアー」は、企画・広報・運営までをすべて都草が主体的に行ったもので、創立以来の大きな事業でした。開催にあたっては、京都御苑管理事務所・国民公園協会のご協力、さらに文化庁・京都府・京都市・上京区・商工会議所などのご後援ご支援をいただくなど、都草の社会性が一段と高まりました。なお、この事業の中で「御苑研究会」のガイドツアーに対して環境省から“感謝状”をいただいたことは、研究会メンバーの活動のモチベーションを高め、都草としても大きな財産になると思います。これらはいずれも会員の皆様はじめ、多くの方々のおかげであり、深く感謝を申し上げる次第です。

さて、今年は大阪・関西万博が開催され、京都にも今以上にお客様が訪れることでしょうか。社会状況の変化に即しながらも、都草の目指すべき事業・活動の歩をしっかりと進め、2025年も会員の皆様が楽しく安全に活動できるよう努めてまいります。新たな年を迎えるにあたり皆様のご多幸を心より祈念いたしますとともに、本年もご指導ご協力の程よろしくお願い申し上げます。(理事長 小松 香織)

■ 「救命講習」実施



12月12日(木)、京都アスニーにて上京消防署による理論と実践を含む合計3時間の研修を実施しました。参加者数17名(男性9名・女性8名)で講師の丁寧でわかりやすい指導のもと、少し汗ばむくらい、真剣に取り組みました。

人が倒れたときなどの緊急時に、救急車が到着するまでの間に、適切な応急手当を行なう事が救命に繋がり、後の社会復帰にも効果がある事は良く知られています。

そこで今回は、御苑ガイドに携わっている会員を中心に参加者を募り実施しました。呼びかけに対する反応(意識)が無く、呼吸も確認出来ない場合には直ちに心肺蘇生法行ないました。その方法として、胸骨圧迫(心臓マッサージ)・気道確保&人工呼吸・AED活用(電気ショック)等を学びました。AEDの操作方法には少し戸惑いもありましたが、音声に従って操作すれば冷静に対処出来ます。心臓マッサージは開始すれば中断せず、一定のリズム(1分間に100回~120回)で続ける必要があります。かなりハードで、一人では無理ですので、数人で交代して行う必要があることがわかりました。

イザという時に勇気を持って行動できるよう日頃から知識とスキルを身につけておくことや、日常の行動範囲の中でどこにAEDが設置されているかを知っておくことも大切であると感じました。今後の研修には、更に多くの会員の参加をお勧めしたいと思います。ちなみに、京都市消防局の1年間の救急出動件数は約10万件とのことです。(理事 中島 孝和)

■ 京都御所・御苑歴史散策ガイドツアー10周年記念講演会



11月24日（日）、立命館朱雀キャンパス大ホールにおいて表題の講演会が盛大に開催されました。テーマは「京都御苑の魅力をもつ、未来へつなぐ ～千年の時を想い、紫式部ゆかりの地、そして幕末激動の舞台～」です。

今回の講演会は、京都御苑歴史研究会が“雨の日も風の日も”続けてきたガイドツアーの成果をもとに、環境省、文化庁、京都府、京都市などのご協力とご後援をいただき、都草が総力をあげて企画、実施したものです。当日は約300名の参加者があり、その様子は新聞にも掲載され京都御苑への関心をいっそう高めることができました。

小松香織理事長の挨拶から始まり、熊谷喜輝副理事長の活動報告、VR（公家町）の上映に続いて環境省京都御苑管理事務所の小口陽介所長の講演が行われました。その後、環境省自然環境局長から都草に対して感謝状の贈呈がありました。

休憩後、京都産業大学の所功名誉教授に、「京都御苑の真価ーみんなで再発見」と題した特別講演をいただき好評でした。最後に共催いただいた「明日の京都文化遺産プラットフォーム」の土岐憲三副会長からご挨拶があり、無事終了となりました。

1年以上も前から準備をすすめて来た実行委員会（委員長：水本博理事）と、理事会ならびに会員の皆様に厚くお礼を申し上げます。（特別顧問 坂本 孝志）

■ 京都御所・御苑歴史散策ガイドツアー10周年記念行事のガイドを担当して



12月1日、空は青く澄み渡り、日差しは柔らかく暖かで、10周年の記念日を寿ぐような絶好の散策日和になりました。この素晴らしいお天気に誘われてか、9時頃からお客様が集まりはじめ、早くも9時30分過ぎには4コースのうち、人気の「御所コース」の第1班が出発しました。

「御苑東コース」第1班を担当する私は、昨年6月からツアーガイドを担当して2回目。どんどん長くなるお客様の列を見ていると、不安で緊張感が高まりました。そして10時を待たずにこちらにも出発の合図が！

閑院宮邸跡前で最初の説明を始めると、お客様の笑顔、力強い頷きに緊張がほぐれていきます。また、九条邸跡を過ぎた辺りで、別コースのグループのお客様が熱心に説明を聞きながら楽しんでいる様子を見てとても心強く思いました。

途中、お客様とお話をしたり、苑内の黄金色のイチョウ、オレンジから赤への鮮やかなグラデーションの紅葉など、この時期ならではの景色を楽しみながらガイドを進めました。

石薬師御門前で最後の説明を終えると、「来週京都に来る友だちに説明できます」「楽しかったので昼からも参加します」などとお声をかけていただき、笑顔でガイドを終えることができました。

参加いただいたお客様、サポートしていただいたスタッフの皆様、楽しい時間をいただきありがとうございました。（会員 大橋 典子）